

ネルギー化を支援することにより、佐渡全体の環境イメージを高めます。これに加え、佐渡版の戸別所得補償制度を通じて経営所得安定対策に取り組むとともに、高品質な佐渡米の販売戦略を再考し、商談会等の機会促進など、多様な販売網の確保を行います。

(3) 販売体制と生産・流通体制の確立

これまでに取り組んできた農商工連携や6次産業化の推進、海上輸送費の支援等により、新たな販路も生まれ、着実に成果が現れています。

これらの取組を加速させ、市内の創業等を後押しするため、産学官に地域の金融機関が加わった創業支援ネットワークを構築し、起業や第二創業化を総合的に支援していきます。また、山菜や自給野菜等の地域資源を活用した地産地消と地産外商の推進により、サドメシラン認証店を通じ、引き続き、販路拡大に向けた取組を支援していきます。

(4) 地域産業を担う人材の確保・育成

佐渡を愛し、「佐渡で成長し活躍

する人」「佐渡に帰り心身ともに大きくなって活躍する人」「佐渡を外から支え応援する人」、この3つの佐渡の未来を担う人づくりを長期的に取り組むことが地域産業の成長にとっても重要です。

そのため、保育園や小中学校、高等学校では、就業体験や職場見学等を通じて、地域産業や佐渡学を学べるように島内企業や地域、家庭、行政が連携しながら、特色あるキャリア教育を充実させ、さらに高等学校においては、英語ガイド養成講座や海外派遣・相互交流、留学生の受け入れ等を推進し、異文化に対する理解と佐渡人として主体性を持ったグローバルな人材の育成に取り組みます。

また、里親制度の推進や優良経営体への支援により、基本技術を忠実に励行しつつ、農業分野における新たな担い手を定住対策とのパッケージで確保・育成します。さらには、創業支援ネットワークを通じた起業・第二創業に関するセミナー等による人づくりに取り組みます。

【島の魅力発信とおもてなしの推進】

全国的に評価されている本市の魅力を胸を張って国内外に発信し、観光客に何度も佐渡へ足を運んでもら

い、1日でも長く滞在してもらえよう、心のこもった最上級の「おもてなし」により、非日常や感動を創

造することが、観光産業の活性化には不可欠であり、これには観光関係者のみならず多様な関係者も深く関わっていくことが重要です。

(1) 観光推進体制の構築

佐渡の豊富な地域資源を活かし、世界に通用する水準に押し上げるには、地域課題を抽出・分析した上で、多様な関係者と一体となって旅行者を受け入れる自立的・継続的な観光地域づくりが求められています。この舵取り役となるのが国の地方創生で強く推進している日本版DMOです。

そのため、産業構造や人口動態、人の流れなどに関する国のデータの活用に加え、観光地域づくりに必要な独自の情報収集と分析を行い、検討組織を立ち上げ、佐渡版DMOの形成を目指します。

(2) 物語性のある魅力発信

トキやジオパーク、金銀山に代表される世界的3資産を有し、自然、歴史、文化などの豊富な地域資源を有する本市では、これらを結びつけて物語性を付加することによって、更なる魅力を高め、国内外に向けて戦略的かつ効果的に発信することが必要です。

そのため、着地型体験メニューの開発や冬期間の2泊3日以上旅行

商品等の造成をするための体験モニターツアーの実施、スポーツ交流の推進、地場産食材を活用したメニューの開発や郷土料理の提供、郷土芸能体験等のメニューづくりに取り組み、佐渡ならではの周遊滞在型観光を推進します。

また、若者や外国人にターゲットを絞り、SNS等を活用した情報発信体制の強化を図るとともに、対岸市をはじめとした都市等との交流やPR効果の高い観光・物産イベントへの参加などを通して、本市が誇る世界的3資産を活用した徹底的な誘客広告宣伝に取り組みます。

(3) 受入態勢の構築

東京オリンピック・パラリンピックも控える中、異文化の理解を深め、外国人等の観光客に対応できるようにしっかりと受入態勢を整えることが必要です。

そのため、インバウンド対策として、本年は、新潟空港から新潟港までの利便性を図ることに加え、世界的3資産

